

トルバプタン投与中の心不全患者におけるアルブミン値とナトリウム値との関連性の調査

1. 研究の対象

2017年11月1日～2018年10月31日に京都中部総合医療センターで入院中の心不全の治療をしている人でトルバプタン(サムスカ®)の服用を始めた患者。

2. 研究目的・方法

心不全によるうっ血(浮腫、むくみ)では利尿薬が使われます。サムスカも利尿薬の1つで、水分のみを利尿します。サムスカの副作用として口の渇きやナトリウム値が高くなることがあり、原因としてアルブミン値が関係しているという報告があります。そこで、本研究では、アルブミン値とナトリウム値の関連性を調査することを目的として、サムスカ服用開始前の血清アルブミン値が3.0g/dl未満の患者と3.0g/dl以上の患者の2グループに分けて調査を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病歴、検査値、服用している薬 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 薬剤部

研究責任者：

京都中部総合医療センター 吉岡 花

-----以上